



第3期忍城おもてなし甲冑隊が集結

6月15日、甲斐姫役を務める新メンバーが加わり、3期目を迎えた忍城おもてなし甲冑隊が、市役所を訪れました。

工藤市長から「甲冑隊の皆さんと行政、そして市民の皆さんと一緒にあって行田を盛り上げていきましょう」と激励の言葉を受けた甲冑隊の皆さん。おもてなしに磨きをかける彼らの活躍から、今後も目が離せません。



心ときめくパフォーマンスで観客を魅了

7月1日、産業文化会館で第15回ときめきレインボーフェスティバルが開催されました。

この催しは、行田市文化団体連合会に加盟しているステージ部門の団体が日ごろの練習の成果を披露するもの。日本舞踊やフラダンスなど心ときめく素晴らしいパフォーマンスを行った出演者に、観客から温かい拍手と声援が送られていました。



元気よく投げ込むホテアオイ

6月29日、水城公園あおいの池で、ホテアオイ約5,000株の投げ込みが行われました。

南小学校3年生の児童61人と、長野中学校の生徒10人は、ホテアオイの苗を両手いっぱい抱え、橋の上から元気よく投げ込んでいました。子供たちは、自分たちの投げたホテアオイが池一面に紫色の花を咲かせることを、心待ちにしている様子でした。



大切な地域社会のきずな

7月4日、「みらい」文化ホールで第62回社会を明るくする運動行田地区大会が行われました。

この運動は、地域で犯罪や非行を抑止し、罪を犯した人や非行を起こした青少年の立ち直りを支えるために行われたもの。清水義憲さんによる「生きる力、立ち直る力」という題目の講演や、埼玉県警察音楽隊とカラーガード隊によるパフォーマンスが披露され、参加者誰もが地域社会のきずな（絆）の大切さについて意識を高めることができました。





気持ちをひとつに

6月30日、グリーンアリーナで第22回行田市綱引き大会が開催され、49チーム467人の小学生が参加しました。優勝目指して気合十分の各チーム。スタートの合図とともに、力いっぱい綱を引き、白熱した試合が展開されました。会場の応援も選手に負けないくらいヒートアップ。選手と観客の気持ちが一つになって、会場は大いに盛り上がっていました。

胸がドキドキ 行田・白河交流会

6月16日・17日、白河ロータリークラブと行田ロータリークラブの主催による行田・白河交流会が行われました。この催しは、白河第一小学校と中央小学校の児童が共に活動することで、親睦を図り、お互いのまちについて理解を深めることを目的としたもの。中央小学校の体育館で行われた出会いの式では、各自が作成した名刺を交換しました。初めのうちは恥ずかしそうな表情でしたが、すぐに打ち解けた児童たち。2日間にわたる活動に、心を躍らせている様子でした。



子どもから大人まで大満足の行田蓮まつり

7月8日、古代蓮の里で第15回行田蓮まつりが行われ、市内外から多くの観光客が訪れました。早朝からメインステージで行われた楽器の演奏やダンスの披露をはじめ、蓮粥や蓮もち、蓮茶の振る舞いのほか、熱気球の試乗体験やミニSL、巨大なシャボン玉など、子どもから大人まで楽しめるイベントが盛りだくさん。見ごろを迎えた蓮の花の観賞と祭りを満喫した後は、観光物産店や売店でお土産を買うなど、訪れた人誰もが充実した一日を過ごしているようでした。

エコで快適な園生活を

6月13日、南河原保育園で「緑のカーテンネット作り」が行われました。つる性植物のゴーヤを用いて緑のカーテンを設置し、エコで快適な園生活を送ってもらおうと同園が企画したもので、園児および保護者が参加しました。慣れない作業に苦戦しながらも、高さ4メートルのカーテンネットが完成。緑に包まれた優しい空間の中で、気持ちよく遊ぶ園児の姿が今から楽しみです。

